



平成28年5月17日

雨上がりの庭

さわやかな風が吹いています。雨が3日続いた日の午後、園庭に大きな水たまりができました。この魅力的な環境を子どもたちが見逃すわけがありません。体いっぱい遊びを展開していました。

この発達段階ならではの大切な学びが繰り返される瞬間です。子どもにとって適切な自由感がある場、友達とのかかわりが生まれる場、道具がある場を大切にします。子どもが自らかかわりたいという意欲をもてるような「環境」を構成し、保育をしたいと考えています。



昔遊びの会



5月9日に昔遊びのボランティアの方たちが、広告で折る紙飛行機と、風車での遊びを教えてくださいました。

一緒に給食を食べることができ大喜びです。

しばらくは紙飛行機遊びが盛り上がりそうです。

最後は、お礼の気持ちを言葉で表すことができました。

たくさんの方々とのふれあいが、子どもの心を広げていくとを感じる体験です。今後2クラスずつ全クラスで体験します。



体のどこを使うのか

大型遊具の柱に、2段にロープを張りました。最初は立入禁止の合図と受け止めた子どもたち。

「先生、あの中に入っているの？」と確認をしてきた子もいますが、そのうち何も言わなくなりました。あまり子どもが遊んでいる様子がないので、改良を考えていたのですが、先生が誘ってくれたこともあり、子どもがゆらゆら安定しない足元を楽しんでいる姿がありました。



左の写真は三角竹馬、手作り遊具です。

意外にバランスをとるのが難しいです。

左右、前後、体の力の抜き方、体のバランスをとる時には、意外に頭を使っていることがわかります。

子どもたちは興味津々。最初は、「難しい」と言っていました。次の日もチャレンジ。少しずつ前に歩くことができる子も出てきました。難しいことにチャレンジして、上達した時の心地よさを味わってほしいと思います。

サツマイモの天ぷら

ある日の午後、私（園長）は、幼稚園の前の畑で、かんぴょうの苗を植えていました。フェンス越しに4歳男児が話しかけてきます。男児「何植えてるの？」私「かんぴょうだよ」男児「かんぴょうって何？」私「大きなヒョウタンみたいなものができるんだよ。それを剥いていくと、細長い食べ物になるんだよ。かんぴょう巻きってあるでしょう」男児「ふーん」男児「そこ（畑）はサツマイモのできる場所？」私「そうだよ」男児「今年もおいも持って帰る？」私「持って帰るよ」男児「持って帰ったら、ママが天ぷらにして食べるんだ」

彼の温かい夕餉の情景に、サツマイモの天ぷらへの郷愁を猛烈に誘われ、私「今日の夜のご飯はサツマイモの天ぷらにする！ヨ—〇〇でサツマイモを買って帰ろう」男児（*^-^*）

その後、道具を片付けていると、三輪車をこいで彼がやってきました。「園長先生、べ〇〇アに焼き芋売ってるよ」よほど芋好きと思われたのでしょうか。4歳5月、他人に思いを遣る心がしっかり育っているのを感じました。◇ 毎週金曜日 9:00～12:00 園庭開放しています。遊びに来てください。